



- ①のちをたいせつにする
- ②しきをちえにいかす
- ③がおでかつどうする
- ④れにでもあいさつする

いちえだ



やさしく かしく
たくましく



平成 28 年 12 月 22 日 第 12 号
校長 高城 直子

2学期が終わりました！

一年間の中で、最も長い学期である2学期が終わりました。明日からは、冬休み。約2週間という短いお休みではありますが、子どもたちにとっては、クリスマス、大晦日、お正月と楽しいことがたくさん待っている時期となります。このような時期は1年に一度なので、大掃除を手伝うなど家族の一員として一緒に過ごしたり、地域等の行事に参加したり、日本の伝統文化を味わったりする機会として、いろいろな体験ができるとうれしいです。

一校小学校の玄関周辺や図書室などは、クリスマスの飾りであらわれています。わくわくしてくるような年末ですが、子どもたちが安全に楽しく過ごせることを祈っています。



「あいさつ名人」「おそうじ名人」増加中！！

2学期の全校のめあてとして、「あいさつ名人」「おそうじ名人」の二つを打ち出してきました。地域の方が朝、交通指導に立ってくださるとき、あいさつが上手にできる子どもが増えていることをほめていただきました。また、掃除時には、自分の掃除区域を一生懸命にきれいにしている子どもが増えています。「当たり前のこと」がきちんとできる子どもに育つよう先生方も子どもたちもみんなで掃除に取り組んでいます。3学期もがんばって、名人がもっともっと増えることを期待しています。



いじめ撲滅に頑張ります！

本年度も北九州市立の小中学校が一斉に、いじめに関する実態調査を実施しました。本年度より「いじめの定義」が変更になり、一度でも相手からいやなことを言われたことを、「自分はいじめられた」と感じたという児童もいじめとして認知し、継続指導をすることとなりました。昨年度までのいじめの定義は「一方的かつ、継続的（一定期間）にいじめられた場合」でした。本校でもこの定義に沿って調査した結果、昨年度（27年度）のいじめ認知件数は0件でしたが、本年度は6件のいじめを認知しました。大半は単発的であり、お互い言い合いとなったが、片方はそのことをいじめられたと感じている場合なども含んでいて、もう既に解決している場合がほとんどです。しかし、継続指導をしているケースがあるのも事実です。今後も学校と保護者の皆様が連携しながら、いじめ撲滅に頑張りたいと思っていますので、何か気になることがあればすぐに学校に知らせてください。よろしくお願いします。

縦割り大縄大会・ミニゲーム集会



12月7日（水）に縦割り大縄大会・ミニゲーム集会がありました。1学期から一緒に活動している縦割りグループで、前半と後半に分かれて大縄にチャレンジしたり、ミニゲームをしたりしました。全校みんなで楽しむことができましたが、特に1年生から4年生までの笑顔が多く見られました。これは、企画・集会委員会と運動委員会の5・6年生がみんなのために楽しい内容を計画し、準備してくれてくれたおかげです。また、チームリーダーの5・6年生の活躍もすばらしかったです。どの会場でも、低学年、中学年の子どもたちが楽しそうにする様子をあたたかく優しいまなざしで見ている高学年のみなさんがとても頼もしくなりました。こうして、一校小の「縦割り活動」の伝統が引き継がれていくのだと確信した瞬間でした。来年度以降も毎年、順番に高学年になるみなさんが、すてきな集会をつくることができると信じています。めざせ！あこがれられる5・6年生！